

第22回 中山間地域振興特別委員会記録

日時：令和3年4月22日(木)

10時00分～11時40分

場所：全員協議会室

- 【出席者】 田畑委員長 布施副委員長
川上委員 柳楽委員 野藤委員 上野委員 飛野委員 永見委員
- 【議長団】
- 【委員外議員】
- 【執行部】
- 【事務局】 古森局長 大下書記
-

議 題

- 1 テーマ4「中山間地における安全・安心対策」について（提言に向けて）

- 2 その他

○次回開催 6月 1日(火) 10時 0分 全員協議会室

【議事の経過】

(開 議 10 時 00 分)

田畑委員長 　　ただいまより令和3年4月22日の委員会を開催する。本日は委員全員出席しており定足数に達している。
　　前回の3月25日の第21回委員会では、四つ目の提言について皆から最終の意見をいただいた。正副委員長と事務局とで提言書(案)を作成したので、これについてご意見をいただきたい。
　　では議題1に入る。

1. テーマ4「中山間地における安全・安心対策」について(提言に向けて)

田畑委員長 　　1ページから順に進めたい。「はじめに」についてご意見はあるか。
　　(「なし」という声あり)
　　ないようなので次へ進める。2ページについてご意見があれば願います。

布施副委員長 　　赤字部分はいくまで予定であり、25回まで開かれることをめどにして入れているが、先進地視察の日程をある程度決めなければいけない。先の委員会で柳楽委員と川上委員が案を出されたが、その以後にアクションはあったか。

古森局長 　　その他で話そうと思っていたが、津和野町に問い合わせたところ、視察対応は可能だとの返答をいただいている。日原町の庁舎に議会事務局と担当のつわの暮らし推進課、それから買い物支援センターが日原にあるので、そちらへ行くことは可能だとのことである。

布施副委員長 　　あとはこの委員会で行く日にちを相手に伝えればよいと理解した。提言に向けて行って、もしよいのがあればプラスしなければならない部分が当然あるだろう。今日皆で案の合意形成をするが、プラスすることを前提に考えなければいけないと思う。

田畑委員長 　　視察は津和野町が受け入れ可能とのことだが、西方面に行く中で津和野町以外にどこがよいかはまだ検討していない。あちこち当たってみようとは思いますが、現時点では津和野町しか考えていない。ルート内でまた探してみたい。

古森局長 　　視察先については中国管内可となっているが、前回津和野町の話が出て、その後ほかに行ってみたいところがあれば副委員長に報告を、という話だったかと思う。話はあったか。

布施副委員長 　　ない。

古森局長 　　特にないので今の段階では津和野町だけである。

田畑委員長 　　前回の委員会にて、視察については委員から中国地方内であれば私か副委員長にご連絡いただきたいとした。これも5月中旬くらいまでには実施したほうがよいと個人的には思っている。でないと5月末から6月定例会議に向けてのいろいろな準備が入ってくるだろう。委員におかれては視察先を検討していただき、報告していただきたい。視察につい

川上委員
田畑委員長

ではよろしく願います。

いつまでにといい形にしておいたほうがよろしいかと思うが。

視察先については連休明けると相手先とのやりとりが難しいかもしれない。日程的にはどうだろう、連休明けでもよいか。

古森局長
田畑委員長
古森局長

行き先についてか。

はい。

6月のときに提言書の最終を仕上げ、市長に渡し議会に報告することなので、5月中にはほぼ最終形、今回の視察を受けたものも取り込まねばならない。5月中旬から下旬には視察と考えると、来週くらいには遅くとも候補を挙げていただき、相手方と調整したい。

田畑委員長

したがって来週末までに報告していただきたい。局長から話があったように、今回の提言については5月の中旬から下旬にかけて最終的な結論を出し、6月定例会議で議場で報告し最終的な提言にしたいため、協力をよろしく願います。

柳楽委員

視察の件と併せて、前回の委員会に野藤委員が、石見ケーブルで見守り事業をされていると伺い、先ほど事務局にてネットで調べてみたところ、やはりそういう事業をされていた。それもやっておいたほうがよいのでは。併せて考えていただきたい。

田畑委員長
野藤委員

了解した。

石見ケーブルというか、石見ケーブルが取り扱っているピースアイという、防犯カメラといろいろなものを組み合わせたものである。小型ロボットOriHimeを使ったサービスがあるとニュースで見た。

私は吉賀町あたりにないかと思ったのだが。介護支援など。また調べてみる。

布施副委員長

視察先は提言に向けたものであり、買い物支援や見守りは各市町村が大なり小なりやっている。先進的な取り組みをしているところについては両委員から津和野町の推薦があったため、ついで行ってみようという考えではなく、浜田市にとって参考になる提案をしていただきたい。それが4月中だにご理解いただきたい。

田畑委員長

副委員長の提案でよろしいか。

(「はい」という声あり)

では計画についてはよいか。

(「はい」という声あり)

次へ移る。次に3ページだが、提言のテーマは最後に調整するため、資料の順に進める。

最初に、提言Iの前文についてはいかがか。よろしいか。

(「はい」という声あり)

次は、(1)のA)「まちづくり総合交付金事業で自主防災組織の設立促進」について。ご意見があれば願います。

柳楽委員

提言テーマの下に4行ある、そこなのだが。

古森局長
柳楽委員

「中山間地に限らず浜田市においては」の部分か。

はい。その部分で、2行目の終わり「個人や家庭における取り組み、自助が基本ではあるが」の「基本」という表現はどうか。最近、自助が当たり前という表現に対してすごく違和感を持たれると言われるので、その表現は少し変えたほうがよいのではないかと。

また、提言Iの前文の下から2行目「重要である」の後に、「まだ組織化が難しい地域については、それにかわる体制の構築が求められる。」というようなことをつけ加えていただきたいのだが、いかがだろうか。

田畑委員長

特に自助ということが、安心安全の対策においては自助、自分たちの地域・命は自分たちで守るのが基本姿勢であり、自分たちでできないものはどうしたらよいか、そこに公助が出てくるのが順序だと思う。したがってここに書いてあるように「住民が安心して暮らすためには個人や家庭における取り組み、自助が基本である」は、もっともだと思う。何もかも市に任せる地域においては本当に地域そのものが災害から取り残されていく。自助は当然だと思う。

そこで、自分たちができないから共助で地域の皆と何とかしよう、それでもできないから市長や行政を頼る。順番はそうでなければいけない。

柳楽委員

委員長が言われるとおりで私も思っている。しかし「基本である」という表現をもう少し、「重要である」などのやわらかい表現に変えるほうがよいのでは。

野藤委員

私も「基本である」という表現は、「個人や家庭における取り組みが求められるが」とすればよい。

また、1行目の「独居世帯・高齢者世帯が多いため」というのが少し気になった。「独居世帯や高齢者世帯が増加し」といった表現のほうがよいかと。

川上委員

「多いため」というのは確かに少し変えたほうがよい。その下の「家庭における」の「お」がないので入れる。「基本」という表現は、野藤委員が言われたようにしたほうがよい。

田畑委員長
布施副委員長

ほかにはどうか。

この文章は基本的に正副委員長と事務局とでつくったのだが、今のうちにいろいろな捉え方ができる部分があるので、委員の指摘について、変えれば非常にわかりやすい。ただ、自助の部分の「基本ではあるが」というのは、その下、マイタイムラインを住民一人一人がつくっていくことを提言にしているし、マイタイムラインは地域でもつくってくれとも訴えているので、前文に「自助」という言葉を入れて、災害の種類においてマイタイムラインに沿って自助でまず自分の身の安全を確保してほしい。それができないときは地域で声かけして避難行動をしていただく、ということで前文が入っている。

今まで基本ができなかった。野藤委員が言われたように基本ができないから避難ができず災害に遭う。したがって「求められる」のほうが

- 非常にわかりやすいかと思う。基本も求められるの中に入っていると理解していただき、そこを「求められる」に変えたほうがよい。
- 田畑委員長 柳楽委員がおっしゃったのは、「各家庭における取り組み、自助が基本ではあるが」を「求められる」と。
- 柳楽委員 言われたように「求められる」でよいと思う。私もあくまでも初動は個人の動きだと思っているし、それが大事だとも思うので「求められる」でよい。
- 野藤委員 取り組みが「基本」と言われると、上から目線に感じる。
- 川上委員 「前提ではあるが」としたほうがよい。
- 布施副委員長 「大切」というと重い。「求められる」なら行動を起こせと言っているのであり、それが大事である。
- 永見委員 「求められる」で切り、「が」は不要では。
- 田畑委員長 「求められるが」でよい。よろしいか。
(「はい」という声あり)
- 古森局長 では確認させてほしい。一番上は「高齢世帯が増加し」、2行目は「個人や家庭における」、3行目は「取り組み（自助）が求められるが」に修正ということで。
- 田畑委員長 はい、よろしいか。
(「はい」という声あり)
- では次へ進む。
- 柳楽委員 先ほどこれをつけ加えていただいたらと言ったのは、やはり浜田地域の中でも組織化が本当に困難なところがあるのではと思うので、普通に自主防災組織が難しいのであればそれにかわる仕組みなども考える必要があるのではと思ったので、つけ加えていただけたらと思った。
- 田畑委員長 人口減少、独居世帯、高齢者世帯などが増えると、各地域の自主防災組織ができやすいところ、できにくいところ、地域格差がすごくあるだろう。そのとき、できるところは自主防災組織で、できないところはまた名前が変わっただけの組織をつくるということは、浜田市全体で見ると二重組織のようになり、あまりよろしくないのでは。したがってまちづくりセンターの中にまちづくり委員会として自主防災組織、地域でできることをできるようにすることが大切だろう。それが自助。それだけで十分だと思う。一番肝心なのは高齢者の災害時における要援護者などの問題について、本当に災害発生時に公助として誰が誰をどうする、というところまで作り上げていくべきだろう。したがって二重組織にはネーミングすべきではない。
- 柳楽委員 私の意が伝わってないようだが、特に組織をつくること自体が難しいケースがあるのではと思うので、組織ではなく災害時の情報伝達や避難行動が、より取り組みやすくなるような形を何かしらつくる。例えば市外から来られた方が多いような団地では、まちづくりの中に入っておられない方もあると思う。そういう方々に対して避難行動を示していくの

田畑委員長
 布施副委員長
 柳楽委員

か、という思いで発言した。

柳楽委員のご意見に対する皆の意見を伺いたい。

柳楽委員の言われた追加分を再度言ってほしい。

「また、組織化が難しい地域については、それにかわる体制の構築が求められる」

布施副委員長

つけ加えることは十分可能だが、それに特化したかわりになる体制はどういったものが望ましいのかを、提言に入れなければならない。提言方法は皆の合意のもとに委員長が言われたと思うが、中山間地域振興特別委員会とはいえ市内全体にかかわることがあるから、提言方法については安心安全の面から全体を見ようということで、こういう提言書になっている。マンションの住民には町内にも入らない方がおられて、組織を組む際もなかなか難しい。しかし浜田市民だから危険があるときには地域ぐるみでやらねばならない。非常に曖昧なところがある。浜田市民である以上は行政として、何らかの形で防災訓練などに参加していただくことが大事である。

柳楽委員は、それもできないところをどうするか考えないといけないという話か。

柳楽委員

地域組織に属さない方たちに対して、属していないなら例えばマンションなり住宅管理者から、災害時の避難行動の指針のようなものを持っていただくことも必要なかと思う。個々でそれをとるとなかなかできないだろうから、どこかが担わないと難しいかと思う。ただそれをマンションの管理者にお願いすること自体ハードルが高いが。

野藤委員

うちの町内のマンションは別組織のようにになっている。町内会活動については協力的である。マンション住民などは人から干渉されたくない人とそうでない人に分かれているので、全てを同じように見ないほうがよいが、組織の中でお願いするというか最低限のことだけお願いする。全部がこうでないといけないとなると難しいかと。

布施副委員長

柳楽委員の言うことも野藤委員が言うこともわかった。黒川町はマンションよりアパートが多い。アパートの中で自主防災組織はまだできていないので今後つくっていかねばという使命感がある。災害時の警告については町内会の正副会長が年に1回回覧板を入れる。それ以外、アパート住民は草刈りにも出ないし、ほかのことも協力はされない。ただ災害があった際は町内会で回覧を回して確認していただいている。

「組織化が難しい地域については」というのを入れて、特段にほかの項目は入れずにここを追加で入れる考え方でよいと思うが。

柳楽委員

副委員長が言われたように組織には属してないが災害時は町内が情報提供してくださる、そういう取り組みが大事ではないかと思う。どこかで何かしら情報が得られたり、協力していける体制は大事である。

布施副委員長

私は、明らかに皆町内で既にやっている前提で言った。私も2年町内会長をやっているが、これは前の会長から引き継ぎでやっている項目で

野藤委員

あり、ほかの町内もやっているものと思ったのだが。あえて訴えないとできない部分があるのか。

緊急時にそれにかわる伝達手段、情報提供する手段があればよいのかとも思った。組織化が難しいというのをどう捉えるか。マンションだけとするのかわからないが。包括したような表現になってよい。

布施副委員長

ここの部分をもし入れるなら、ウとしてその部分を入れるのか、入れないのか。柳楽委員が言われた「また組織化が難しい地域については」という項目だけにするか、全く入れないか。それを協議しないと前に進まない。

柳楽委員

前文に入れていただき、さらっとやっていただいてもよいし、あとは皆の考えにお任せする。入れたら明確な方向性が出せないか。

布施副委員長

それはない。提言とは相手に考えさせるものだから、全部このとおりにやってくれということではない。特別委員会での提言は出すが、相手の捉え方もある。よりよい行政案が出るかもしれない。ただ、項目に入れることによって柳楽委員が言われたように、項目で指摘しなくても話が前に進む可能性があるので、それはそれでよい。

柳楽委員

そのように言っていただけるのであれば、私は入れていただけるとありがたい。

布施副委員長

まだ今回発言されてない委員はどうか。上野委員、どうか。

上野委員

先ほど野藤委員の言われたマンションの例がわからない部分があったので。町内会に入っていない人は回覧も見ておられない。そういう方のためにできれば、ウ)をつくったほうがよいのでは。マンションなど特に、そういう方も含めて何か対策を考えねば。そのためにはもう1行つくって入れたほうがよい。

布施副委員長

ウという項目を入れてそれを提言していくという意見だった。飛野委員。

飛野委員

それでよい。

布施副委員長

委員長、これをどうするか諮ってほしい。

田畑委員長

マンション、アパート、市営・県営住宅含めて。うちらでも県営住宅に入っている方は県としてもいろいろあるし、自治会を脱退した。そうすると自主防災組織も脱退。脱退するというものをそこまで追いかける必要があるかどうか。行政としても自治体としても。嫌なものは嫌だということになると、そこまでリスクを追う必要があるかということ。

最近集合住宅が増え、そこの住人にあれこれやれと行政として、議会として言えるか、厳しい口調で言えば従うかといえ、本当に難しい。

そういう状況も含めて先ほど話があったように、ウとして柳楽委員が発言された内容を加えるかどうか。

川上委員

3点というのが、(1)(2)かアイウか。

布施副委員長

(1)の二つ、(2)の一つで3点。

川上委員

柳楽委員が言われた内容は(1)のウとするのか。

- 布施副委員長
田畑委員長
川上委員
布施副委員長
柳楽委員
布施副委員長
柳楽委員
田畑委員長
柳楽委員
古森局長
柳楽委員
古森局長
布施副委員長
田畑委員長
柳楽委員
田畑委員長
柳楽委員
- 自主防災だから。
ウをつかってそれを記載するかどうか。
見るからに(1)、(2)だ。何がどうなるのか。
その前に「具体的対策として」と前振りしているから、具体的対策は(1)のアとイと(2)のアである。項目的には(1)と(2)の二つだが、具体的対策として以下の3点。
それに関係する項目を見たときに、(1)ではなく(2)でそれをやっていくということになるのでは。アにあるように、まさにそれなのではと思う。したがって新たに項目を設けなくても、そこに当てはめていけるのでは。では柳楽委員の言われた内容は入れなくても、アでそれが理解できるのであれば書く必要はない。
そこがあつての、それを含むこういう体制だと私は思ったのだが。柳楽委員、今は(1)のア。柳楽委員が言うのは(2)のアだから、順次そこまでいくから。
今、ウとして別項目を考えるほうがよいのかという話をされていたので、よくよく考えてみると前文で入れていただきたいという話をしたので、それを考えると(2)のア部分に当たるのではと自分で思ったので、特にウをつけ加えていただかなくてよいと思ったので言わせていただいた。
ウを新たに設けるのではなく、前文に入れた上で(2)のアをそのままていくのか、(2)のアに多少文言を加えるのか。
この文章を見ると副委員長が言われたように、周辺地域のもともと町内会に当たるような区域からの情報提供をしていただける体制みたいなものがあればよいと思うので、市内全域に今まで安否確認、情報等の連絡体制を確立というところでそれが補完できるのではと思ったので、特にほかにつけ加える必要はない。
前文のみ加えてあとは修正しない。
それならわかる。
組織化が難しい部分を取り入れて(1)のア、イはそのままでもよいのではということだが、ほかの委員はいかがか。
(「異議なし」という声あり)
では(1)のア、イについてご意見を願います。
イの4ページ一番上の行、「自主防災組織が担う働きの中に」を「役割の中に」としてはどうか。
自主防災組織の中にはいろいろな役割がある。それをまた分担して次の人がどう担うかも出てくるので。「働き」がよいか「役割」がよいか、皆はどうか。
役割と言うと動きがペーパー上に載るだけで、働きと言うと体を動かすということになってくると思えるので、このような書き方にした。
そういう強い思いがあつてのことなら、そのままにしていきたい。

田畑委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

では次へ進んでよいか。

(「はい」という声あり)

では(2)のアについて。先ほど出た意見ではこのままでよいとのことだが、ほかの委員はどうか。

柳楽委員

アの4行目「地域の人が目配りができる」の部分だが、「地域住民が相互に目配りできる」という表現はどうか。

下から4行目「早助の活用をこれまで以上の利用拡大を図るべきである」の部分だが、「早助等を活用しこれまで以上の利用拡大を図るべきである」としてはどうか。等と入れたのは、先ほど視察の件などもあったので、本日参考になるものがあればそこにも入ってくるのかと思ったので。ほかにもツールやシステムがあるのかと思ったので入れた。

最後の「冷蔵庫に貼っておく等の全市統一を図る指導を行う」というところを、「貼っておく等の対策を全市で行うことを求める」と変えてはどうか。

田畑委員長

最初の地域の人が目配りができる環境づくり、地域住民相互という言葉を入れたらどうかということだった。安否確認について各地域全体を誰がということになるので、元気な人が隣の高齢者を、向こう三軒両隣という形で、小さな枠で安否確認していただくという思いからこのようにした。

もう1点、早助等と言われたが、早助については浜田市が早助を取り扱っている業者と契約してこういう事業に取り組んでいるので、津和野町へ視察に行つて早助以上のよいものがあるかどうかかわからないが、浜田市として早助の業者と契約解除してそこにすることは非常に難しいのではと思うので、どうなるかはわからないが現段階では、業者選定も含めてというわけにはいかない。

もう1点、緊急連絡先等を冷蔵庫に貼ってくれということである。それに対して何か事が起きるといことはなかなか考えにくいので、対策は必要ないと思っている。これは自主防災組織のある家はほとんど、冷蔵庫に貼るか冷蔵庫内に入れておくかどちらかである。なくさないために冷蔵庫の中に入れておくという考えでこのようにしている。

柳楽委員

確認だが、冷蔵庫に貼ったりするカードは全地域にあるのか。

田畑委員長

全地域にはないから、例えば柳楽委員の地域であれば美又まちづくり推進委員会として自主防災組織を立ち上げて緊急カードを、インターネット上のいろいろな見本を使って各戸配布し、冷蔵庫に貼る・中に入れる仕組みでないと、浜田市全体で統一したものはない。

野藤委員

緊急通報生活サポートシステムは何年契約かなど、入札なのか。

田畑委員長

これは予算決算委員会で早助の予算が上がっていた。業者と浜田市が契約しているのは850円から950円くらいの間だったと思う。業者には

野藤委員

500円を負担してもらっている。契約年数については予算決算委員会では話がなかったと思う。現時点では早助を扱う山口県の業者である。

例えばシステムが変わるとかになると、ここへ早助の利用拡大を図るべきと書くのは適当なのかどうか。

布施副委員長

そういう施策があるにもかかわらず、受益者負担でお金は要るのだがこういったものがありながら知らない人もいる。利用している人は緊急時には助かる。だから利用拡大を図るべきだと。将来的にシステムが変わるからそれを見越して「等」を入れる、これは提言につながらない。提言は最良で考えられること、利用拡大を図るべきだということで提言しているので、将来を考えてこれにかわるものがあるから、業者が変わったらどうするのかという話になると、鶏が先か卵が先かという話になる。現時点で考えられることを提言とする。これが正副委員長の思いである。

もう一つ、冷蔵庫に貼っておくのは皆の今まで何度かやってきた検討委員会の中で、緊急時に確認しようがないので一番よいのは冷蔵庫だという話題が出た。貼るのがよいか中に入れるかは手段であって、救助に来た人がわかるようにしておこうというのが提言である。これがベストではない。そういう意味でこの文言にした。

柳楽委員

ややこしくしている気がして反省している。早助についてそういうことであれば「等」をつけずにやっていただき、ただ、今度視察を行うがそれが本当に有効だとなれば別の文章としてつけ加えることになるのだろうから、それで対応していただきたい。

最後については、私はこの方法を否定するつもりではなく、意味合いとしては私が言ったものは全く変わってないが少しコンパクトにした気持ちだった。中身ではなく文言の修正という意味で言った。

飛野委員

句読点について。(2)安否確認の早助の最後と、(1)イのかぎ括弧の最後の行うのところ。

古森局長

かぎ括弧の部分を加える意味合いである。

布施副委員長

句点の後に括弧はいらないのではという話。

古森局長

句点まで含めたものを括弧で結んでいるので必要である。

田畑委員長

(2)のアについて柳楽委員から発言があったが、相互にというのは地域の方々に対して目配りすればよいのであって、相互となるともっと大きな団体になると思われる。安否確認できる状況、情報を仕入れる状況については向こう三軒両隣くらいでお互いがその気持ちを持っていただければよいのでは。したがってこのままでよいのではと思うが、委員からほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

永見委員

「地域の人の」と「の」が続くので、文言を多少訂正したらどうか。

川上委員

最初に柳楽委員が言われた件はどうなるのか。

柳楽委員

そのままではよいのではと言われた。

布施副委員長 | そのままでよいのだが、「の」が続いていると永見委員から指摘があったので、そこをどうするか。

永見委員 | 「地域の人々に目配りができる」ではどうか。

田畑委員長 | 「地域の人に」でよいか。
(「はい」という声あり)

ではアは終了してよいか。
(「はい」という声あり)

ここで10分間休憩する。

[11時05分 休憩]

[11時15分 再開]

田畑委員長 | 休憩前に引き続き委員会を再開する。

柳楽委員 | 提言Ⅱについて。委員の意見を伺いたい。

田畑委員長 | 前文2行目「今一度全件見直しを」を「今一度全避難所見直しを」にしてはどうか。また「見直しをするとともに」を「見直しを行うとともに」にしてはどうか。

田畑委員長 | 浜田市には310か所程度の避難場所が定めてある。それを全件という表現がよいのか、どのような表現がよいのか。早く言えば全部見直す。そのため全件という表現をしたのだが。

川上委員 | 柳楽委員が言う「全避難所」のほうがわかりやすい。

野藤委員 | 「今一度」が要るのか。今一度というと前もあつたように感じる。

柳楽委員 | 多分避難所の見直しは、ここ数年のうちにされてはいたと思う。

野藤委員 | ハザードマップの見直しがあつたときにされたのでは。津波の想定が変わったりなどで。

柳楽委員 | ということがあつた気がするので、「今一度」はあつてもよいと思う。

古森局長 | あえて「今一度」とさせてもらってはいる。

野藤委員 | 理解した。

田畑委員長 | 全件を全避難所とするということではよろしいか。
(「はい」という声あり)

次。

布施副委員長 | 「する」を「行う」に変えるのは。

田畑委員長 | そのようにしてよいか。
(「はい」という声あり)

次へいく。(1)アについてご意見はあるか。

柳楽委員 | 3行目、「避難する行動をとることが」を「避難行動をとることが」ではどうか。

田畑委員長 | 避難行動というのは指針であり、ペーパーに書いて貼っておくもの。避難をするのとは違う。ほかに。
(「なし」という声あり)

- ではイについて。よろしいか。
(「はい」という声あり)
- (2)ア。
柳楽委員 これはわからなかったので確認だが、終わりから2行目「適不適マーク」だが、適不適は全部つながった状態が普通か、適・不適とあるのが普通なのか。
- 田畑委員長 確認して修正が必要ならしておく。
川上委員 提言Ⅰでは3点としてアイウとあったが、今度は2点で三つある。その辺も統一性がなかった。
- 布施副委員長 3点に修正する。
田畑委員長 ほかにあるか。
(「なし」という声あり)
- 次、提言Ⅲについてご意見はあるか。よろしいか。
(「はい」という声あり)
- では(1)アはよろしいか。
(「はい」という声あり)
- 次に(1)イ。
野藤委員 見出しの部分で「の」が三つ続いているので何かほかにないか。
布施副委員長 真ん中の「の」を「と」に変える。
田畑委員長 ほかに。
(「なし」という声あり)
- (2)アについていかがか。よろしいか。
(「はい」という声あり)
- では(2)イについて。いかがか。よいか。
(「はい」という声あり)
- では最後に3まとめについてはいかがか。
古森局長 これまで(1)から(4)までは1回目の提言のときからずっと来ているが、中山間の10億円の部分が出てきたので、あえてここは直す形で書かせてもらっている。
- 田畑委員長 まとめはよろしいか。
(「はい」という声あり)
- 最後に「改めて以下4点の要望をしておきたい、(1)から(4)まで」、これでよいか。
(「はい」という声あり)
- ではこれで終わったので、まとめてまた委員のタブレットに送信する。先ほど津和野等についての視察の話があったが、状況によっては早助の欄が今日話したことより多少文面が変わる可能性があるのでお含みおきいただきたい。
- 布施副委員長 視察の日程は。
古森局長 メインテーマの話をしておきたい。

田畑委員長

メインテーマだが、次回の宿題として各委員から事務局へ提出していただきたい。そして次回の委員会で決定したいと思うのでよろしくお願いする。

古森局長

3ページの赤字部分。

田畑委員長

連休明けの5月7日までに事務局へメインテーマのタイトルをお知らせいただきたい。

提言テーマは1回目の提言テーマは、「自主性にとどまらない主体性の創造による地域活動の推進」、2回目の提言テーマは、「だれ一人として取り残されることのない生活基盤整備の推進」、3回目のテーマは、「農地を守り活かす仕組みづくりの推進」としている。お含みおきいただき、メインテーマを考えていただきたい。

以上で議題1を終了する。

2. その他

古森局長

委員から何かあるか。ないようなら事務局から何かあるか。

視察については先ほど話したので、ない。相手方があるのでいつごろがよいのか。ただ、来週中にほかの場所という話もあったと思うので。

布施副委員長

予定だけ言おう。次の委員会までにするのか、委員会が終わってからするのか。

《 以下、日程調整 》

布施副委員長

では19か20、21日に調整しよう。よいか。委員長よいか。

田畑委員長

よい。視察は19か21日か。

布施副委員長

相手があるから。

古森局長

1か所だけなら1時くらいからでよいか。朝出て昼食を食べて昼一で。最大2時間ほど。

布施副委員長

事前に質問事項を考えてほしい。委員長。

柳楽委員

視察は、今回の提言にかかわる部分は見守りだが、併せて買い物の件も一緒にさせていただくということでよいか。

布施副委員長

提言の中にそういうものが入っていたのでそれでよい。

田畑委員長

ということになると、次回の開催日は。

《 以下、日程調整 》

6月1日の10時から。

先ほど言ったようにメインテーマの事務局への提出は、週明けの5月6日までをお願いする。次回の開催は6月1日火曜日10時とする。

以上で本日の委員会を終了する。

(閉 議 11 時 40 分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 田 畑 敬 二 ㊞